

科学教育支援チームの活動 (2020年度)

公益社団法人 日本技術士会 千葉県支部

〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央二丁目7番10号シャンポール千葉中央2階206号
TEL 043-301-2032 FAX 043-301-2032 E-mail: chiba@engineer.or.jp

備考：本資料で紹介する組織・団体・個人名の敬称は省略させていただきます。

目次

	頁
1. 科学教育支援チームの意義	3
2. 2020年度のチーム活動実績	4
3. 千葉市科学フェスタ2020のチーム出展	5
4. 個別校向け「SDGsと都市鉱山」講義	7
5. 科学教育支援チームの陣容	9

1. 科学教育支援チームの意義

チームの役割

技術士の社会経験と専門業務の知見をもって、主に青少年向けに科学技術の啓発や理科教育の支援活動を担い、健全で活力と好奇心に溢れる人々の暮らしや社会の発展に寄与する。

チームの活動目標

- (1) 科学理科イベントへの教材出展や学校教育支援の充実
- (2) 高校生・大学生と協創する理科教育活動の強化
- (3) 他の公共活動体との連携

課題：公共教育のコロナ新常态やリモート学習への適合

2. 2020年度のチーム活動実績

(主要実務のみ記載)

2020年度

		場所
10月10日-11日	千葉市科学フェスタ2020メインイベント 出展	ちばーる
10月22日	八千代松陰中学校「SDGsと都市鉱山」特別講習会	八千代松陰 中学校
12月19日	Chiba Cross School Science Fair 2020(指導助言者)	市立千葉高校
3月20日	八千代松陰中学・高等学校「SDGsと都市鉱山」JOL講座	講師、生徒 各人在宅

オンライン講座初回

凡例 : 科学理科一般参加イベント : 個々の学校向け講義、工作実習ほか : SSH高校の活動支援

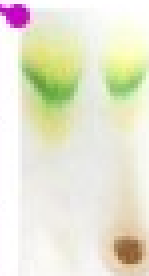
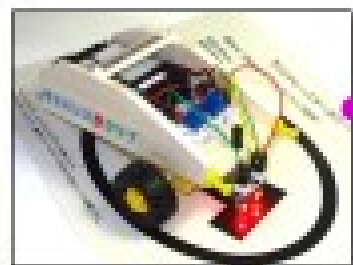
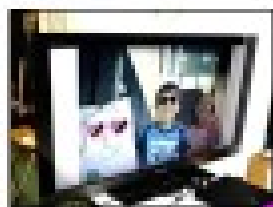
備考: 2020年度はコロナ禍での感染防止徹底のため、公行事の中止や学校との交流中止・縮退が相次ぎ、例年実績の1/3規模にとどまった。なお、活動での感染防止は徹底できた。

3. 千葉市科学フェスタ2020のチーム出展(1/2)

◎ 科学教育支援チームは、様々な団体・機関・個人の協力にて工作・教材を送り出しています。

出展コンテンツ一覧

No.	展示名称
①	メロディーの小箱を作ろう (講師オンライン参加)
②	身近な野菜に含まれる成分を分析してみよう
③	TVで顔認識～帽子をポン～
④	ライトレースカーで車の自動運転を体験しよう
⑤	CPU殻割体験 & 都市鉱山クイズ (コラボ: 日東造機㈱)
⑥	生態系シミュレータで遊ぼう (コラボ: 東工大学生)
⑦	自動工作機械で自分だけの形を作ろう (コラボ: 同上)



3. 千葉市科学フェスタ2020のチーム出展 (2/2)

出展風景

メロディーの小箱工作

野菜の成分分析

TVで顔認識

CPU殻割体験

ライトレースカー

自動工作機械

生態系シミュレータ

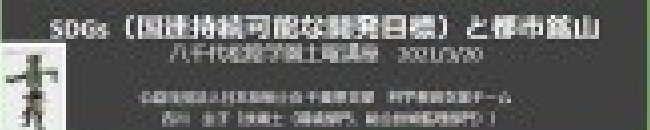
主催者指導感染予防対策下で実施

4. 個別校向け「SDGsと都市鉱山」講義(1/2)

八千代松陰中学校 科学部生徒向け(2020/10/22(木)) 講師吉川圭子 その1



前半プレゼン、後段小型家電分解組立実習
(次頁参照)
SDGs及びリサイクル意識を喚起



八千代松陰中学・高等学校 土曜オンライン講座 (2021/3/20(土)) 講師吉川圭子

- 10/22の成果を受け、同校のオンライン講座に展開したもの。
- リモートオンラインの長所を活かすべく
動画5本、適宜のチャット、事後の生徒とのtv会議Q&Aを多彩に折り込む。
※オンライン講座はチームとして初実績となった。

4. 個別校向け「SDGsと都市鉱山」講義(2/2)

八千代松陰中学校 特別講座「SDGs×都市鉱山」(2020/10/22(木)) その2



写真は県支部会員提供。
本講義の八千代松陰中学校科学部広報ページ

<http://www.hiokan.com/2020/10/22/>

感染予防対策下で実施

5.

科学教育支援チームの陣容

☆ 以下のメンバは、千葉県支部の会員です。(順不同)

2016.7から チームリーダー	西田 宏	副リーダー	山下 六男
	飯沼 俊和		泉舘 浩次郎
	今住 則之		江藤 政継
	大塚 憲司		川畑 真一
	河北 慶介		高野 典子
	春山 周夏		松井 啓一
	圓山 裕史		三井 宜夫
	山村 央		山本 陽一
	吉川 圭子		和田 昌美
	(さらに募集中)		

END